

学習指導要領が改訂されます

今年3月に次期学習指導要領が告示され、小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度から、幼稚園では平成30年度から全面実施されます。高等学校では平成34年度から年次進行で実施していく予定となっています。改訂点をいくつか以下に示します。

「特別の教科 道徳」が始まります

これまでの「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」に移行します。年間35単位時間（小学校第1学年は34時間）の授業時間は変わりませんが、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から文部科学省の検定教科書を使用しての授業が他教科等に先立って始まります。

小学校での外国語教育が変わります

これまで第5・6学年で実施してきた外国語活動（年間35単位時間）が第3・4学年で行われ、第5・6学年では外国語科（年間70単位時間）が始まります。東京都では、来年度から先行的に実施していきます。外国語科の検定教科書は、平成31年度に採択される予定です。

プログラミング教育が行われます

小学校の各教科等において、コンピュータで文字を入力するなど、情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を実施することになります。

学校、家庭、地域の連携が求められます

今回の改訂では、「社会に開かれた教育課程」が提言され、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有して、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育むことを求めています。



第209号
発行
奥多摩町教育委員会
平成29年9月1日現在
児童数 142名
生徒数 81名
教職員数 48名

SNS家庭ルールをつくりましょう

子供同士のトラブルや犯罪から守るために、SNS東京ルール、学校ルールを参考にして、各家庭でのルールを考えてみてください。全児童・生徒の家庭で一斉につくることが大切です。

【SNS東京ルール】

1. 1日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
2. 自宅でスマホを使わない日をつくらう。
3. 必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
4. 自分や他者の個人情報を載せないようにしよう。
5. 送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう。

町内3校で通級による指導を実施しています

在籍学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童・生徒に対して、各教科等の指導は在籍学級で行いながら、個の実態に即した課題に対して指導するのが、通級による指導です。小学校では「おおぞら教室」、中学校では「通級指導教室」と呼んでいます。古里小学校の「おおぞら教室」では、拠点校の氷川小学校の担当教員が巡回指導を行っています。通級による指導について相談等ありましたら、お気軽に学校まで連絡ください。



古里小おおぞら教室



氷川小おおぞら教室



奥多摩中通級指導教室

古里小学校の特色ある教育活動 「学びの学校」「楽しい学校」「出会いの合校」

古里小学校は、今年度「東京都人権尊重教育推進校」として2年目を迎えました。児童が主体的に学び、わかる喜びをもてるよう、授業の充実と改善を目指しています。1学期の活動の中から、古里小の特色ある教育について報告します。

「学びの学校」 *主体的な学び、学び合い、わかる喜びを重視した授業の創造。*

人権尊重の視点に基づき、1学期間に授業研究を4回行いました。教科指導における児童の人権感覚は、主体的に学習活動に参加し、協力的に活動し、体験することを通して身に付けることができます。日々の授業を大切にすることで、自尊感情や自己肯定感を高めていきたいと考えています。2月の発表に向けて研修を深めて参ります。

また、本校の英語推進リーダーが2か月間の、海外派遣研修を終えました。今後、小学校2校における外国語指導が一層充実していきます。



算数少人数授業(4年)

「楽しい学校」 *一人一人が主役の楽しい生活、自分を大切に、人と支える仲間作り。*



御前山山登り遠足(5・6年)

学校独自の行事や活動を通して、児童が主役の学校づくりを目指しています。山登り遠足(5・6年)、三浦移動教室(5年)、わさび植え付け(3年)等がありました。木曜の昼休みは「ロング遊び」で学年を超えて交流します。



三浦移動教室・磯観察(5年)

「出会いの合校」 *「人」「学び」の出会い、「ふるさと」を思う心を育む。*



俳句教室(3・4年)

年間を通して、たくさんの地域の方々や講師をお招きした特別授業を行っています。1学期は、よもぎ団子教室(2年)、俳句教室(3・4年)、押し花教室(1年)、書写指導(3年)が行われました。



押し花教室(1年)

氷川小学校の特色ある教育活動

氷川小学校の児童会スローガンは、「A・・・明るく N・・・仲良く T・・・楽しく J・・・自信をもって」です。このスローガンになぞらえて、「ANTJ」でどんな特色ある教育活動をしているか、まとめてみました。

A・・・明るく ☆朝の「おはよう」から帰りの「さようなら」まで

校舎に響く熊鈴の音で、氷川小の1日が始まります。顔を合わせると、どの子も元気良く自分から進んで挨拶ができます。帰りには階段上からいくつもこだまする熊鈴の音が、1日の終わりを告げます。朝と変わらぬテンションで、「さようなら」と挨拶ができます。全校児童56人の人数だからこそ、個に応じた学習・生活指導や、通級「あおぞら教室」・教育支援員・図書支援員による細かな支援が毎日実現されています。だから、児童は明るい学校生活が送れています。



N・・・仲良く ☆「どんな時でも助け合っていきましょう!!」

縦割り班開きにおいて、縦割り委員会のリーダーが発した感動的なメッセージです。全校児童の前で1年生が力強く自己紹介をし、在校生が温かく迎えて、今年度の縦割り班活動が始まりました。縦割り班活動が日常化しているのも、自然と高学年は低学年をいたわり、低学年は高学年にあこがれ育っていくのでしょう。



○毎日仲良く、常時活動 →縦割り班で毎日掃除をし、年に数回給食や遊びを行います。給食や遊びを企画するためには、縦割り班で会議を開きます。また入学間もない1年生には、6年生が「校歌」や「命の歌(手話)」の指導もします。

○一致団結、行事に向けての活動 →全校児童縦割り班で「むかし道遠足」(1年ごとに場所を変えます。)をしました。年間通して行事で使う「縦割り班看板制作」をしました。運動会の伝統演目である「氷川獅子」の練習は、低・中・高で分かれて取り組んだ後、全体で合わせて踊っています。

T・・・楽しく ☆奥多摩学習氷川小学校版

～世界に誇る奥多摩町の良さを知り、知ってもらい、大切にしていける気持ちを育てよう～

○1・2年生・・・よもぎ団子・梅ジュース作り(多摩川の石を使って 氷川獅子)

地域の方々や作業員さん・用務員さん・支援員さんに手伝っていただいて収穫し、自然の恵みに感謝しておいしくいただきました。保護者との共同作業で作ったよもぎ団子の味は、格別でした。



○3～6年生は、学年に応じてこのような取組を、年間通して励んでいます!

- ヤマメの飼育・放流 わさびの植え付け・収穫 山のふるさと村交流学習 氷川獅子
- 花笠作り 特別養護老人ホーム訪問 ヒジターセンター・水と緑のふれあい館・
- 養殖センター見学 治助イモの栽培 水干水源探検 小河内ダム見学 巨樹写生会
- 獅子頭作り 椎茸コマ打ち・収穫 林業体験学習 篠笛 太鼓作り 奥多摩を紹介しよう(パンフレット作り) 奥多摩の伝統文化を受け継ぎ伝えよう(車人形)

J・・・自信をもって ☆命の日発表会「一生に一度の命に感謝しよう!!」

1年に一度、命について、みんなで深く真剣に考える、本校伝統の教育活動です。今年のテーマは、『一生に一度の命に感謝しよう』でした。地域・保護者の皆様の前で、「学年発表・命の歌(手話)」を、自信をもって発表することができました。



奥多摩中学校 特色ある教育活動

校内研修会の工夫 グループ研究の取組

奥多摩中学校では、町の研究指定を受け、昨年度まで、タブレット端末を中心としたICT機器の利活用について研究をしてきました。開校当初からの2年間、ICT教育の研究に集中してきたわけですが、私たちは、日々の教育活動の中で、ICT教育の他にも、解決すべきいくつかの課題があることを自覚していました。それは、次のようなものです。

- 家庭学習の効果的な取り組み方
- 論理的文章の効果的な指導
- 道徳の教科化に向けて、今後求められる道徳授業の実践

また、ICT教育については、研究の一つの節目を終えたとは言え、今後も継続して取り組んでいく必要があります。そして、これらの課題はどれも、重要かつ、大きなテーマであり、一つひとつのテーマの追究には多くの時間を要します。年間に数回の校内研修会だけで、これらの課題の全てを消化しきることはできません。

そこで、本年度の校内研修の取組では、職員の興味・関心や各分掌と

の関わりなどから、5〜6人のグループを作り、分担したテーマについて、年間を通してそれぞれのグループで研究を深めていくことになりました。

4月19日に行われた、第1回の校内研修会では、早速、各研究部会に分かれ、年間の活動内容や方針、活動計画を検討しました。各部会における研究テーマと活動計画の概略は次の通りです。

【家庭学習部会】

テーマ

「家庭学習の定着に向けて」
活動計画

- 一学期 各学年の家庭学習の現状と課題の把握及び協議
- 二学期 効果的な家庭学習の取組方法の協議と実践
- 三学期 実践の検証と報告会の準備

【論理的文章部会】

テーマ

「論理的文章の効果的な指導」
活動計画

- 一学期 各自の実践を持ち寄り紹介
- 二学期 具体的な指導方法と効果について協議
- 三学期 研究のまとめと報告会の準備

テーマ
「道徳の教科化に向けて」
活動計画

- 一学期 外部講師を招き、道徳授業の今後の動向について理解を深める。
- 二学期 学年交換授業の実施
ICTを活用した道徳授業の実施
- 三学期 地域人材を活用した道徳授業の実践
実践の検証と報告会の準備

【ICT教育部会】

テーマ

「ICTを活用した効果的な協働学習」
活動計画

- 一学期 ICT活用授業の実践（社会科）
- 二学期 ICT活用授業の実践（技術科）
外部講師を招き、先進校の取組について理解を深める。
- 三学期 ICT活用授業の実践（数学科）
実践の検証と報告会の準備

どの部会も実践的な研究を進め、次年度の教育課程の編成にも生かせる内容となっています。各部会で深めた研究の成果は、年度末に報告会を行い、全職員で共通理解を図ることで学校の財産とし、生徒の成長のために生かしていきたいと思えます。



第27回歩く大会 参加者募集

「オリンピック」「高橋千恵美氏講演会」と奥多摩ウォーク」

秋の1日を健康づくりを兼ねて、ご家族や友人と一緒に歩いてみませんか。

コースはロングコース(約10km)とショートコース(約5km)を準備いたしますので、お気軽にご参加ください。

当日はオリンピックの高橋千恵美氏による講演会も実施します。

【高橋千恵美氏】

セビリア世界陸上1000m5位 入賞
シドニー五輪 同種目 15位

〔日時〕 10月8日(日)

午前9時開始予定

〔会場〕 氷川小学校体育館

〔コース〕

①氷川小学校↓むかし道↓井戸入線林道↓登計原グラウンド↓氷川溪谷↓氷川小学校(約10kmコース)

②氷川小学校↓氷川溪谷↓登計トレイル↓氷川キャンプ場↓氷川小学校(約5km)

*詳しくは、後日チラシ等でお知らせします。

【問合せ先】教育課(文化会館内)

TEL(85) 1618

図書館より 新しい本のご紹介

一般書

月の満ち欠け(直木賞)

佐藤 正午著 岩波書店

影裏(えいり)(芥川賞)

沼田 真佑著 文藝春秋

探偵さえいなければ

東川 篤哉著 光文社

嵯峨野花譜

葉室 麟 著 文藝春秋

ずぼらヨガ

崎田 ミナ 著 飛鳥新社

知らないといけない!

ズルい食品ヤバイ外食

河岸 宏和 著 永岡書店

児童書

かいつゾロリのかいていたんけん

原 ゆたか 作 ポプラ社

おぼけトリックアート①②

北岡 明佳作 あかね書房

スミス先生シリーズ①④

マイケル・ガーランド 作

新日本出版社

歴史漫画サイバルシリーズ①⑭

朝日新聞出版

教育相談室より

毎年6月ごろになると、「梅干し」や「らっきょう」などを漬けるご家庭も多いのではないのでしょうか。漬物をつけるときの塩加減はなかなか難しく、ほどよく漬けるのにはそれなりの経験が大切と聞いたことがあります。多すぎても少なすぎても上手につからないとか。この加減を「塩梅(あんばい)」とはよく言つたものだと思います。

この塩梅とはそもそも料理用語だったそうです。昔の調味料は塩と梅酢だったので、塩と梅酢でほどよく上手に味をつける様子を表したところからきているようです。しかし、今では料理に限らず物事の加減や具合を表すときにも使われるなど広く用いられるようになり、バランスよく行うという意味にも使われるようになってきています。

詩人の相田みつをさんが「琴の糸」という作品で子育てに関する言葉を記しています。

張りすぎてもだめ
たるんでもダメ
ちようどいい
あんばいのとき
ちようどいい
あんばいの
音が出る

親の気持ち 子の気持ち

教育相談室長 井上 英二

子どもたちの自立を促す子育てには「自由と管理」「優しさと厳しさ」「ほめると叱る」などの相反する対応のちようどよい加減が大切だと思います。しかし、どちらかに偏り、バランスを欠いたりしているのではと感じる話を聞くことがあります。

よちよち歩きの子を公園で遊ばせる親の様子です。一人は子どもの後ろにしつかりついて、先回りして障害物を取り除いたりして、一歩一歩あれこれと指示をする。もう一人はスマートフォンなどに夢中になり、子どもの危険なことにも気付かないで何をしても注意しないことです。

一人は過保護、もう一人は自由というより放任です。近過ぎもせず遠過ぎもせず、ほどよい加減の距離感で接すること、言い換えれば「つかず離れず」ということであり、「見守る」「寄り添う」ということが大切ではないでしょうか。

バランスのよい塩梅を見つけるためには、子どもの心に向き合うことも重要です。一人ひとりみな違います。子どもの話にしっかりと耳を傾け、子どものことをよく知り、信頼し、じつと見守り、そして、そっと寄り添う。こんな体験を通して、子どもは生きる力を高めながら自立していくのではないのでしょうか。

郷土奥多摩 (文化財)

巨樹を見に行こう

(日原街道・林道沿いの巨樹)

文化財保護審議委員 堀口 行雄

奥多摩は日本有数の巨樹の多い町として知られています。中でも日原周辺は良く調査され多くの巨樹が見つかっています。巨樹が多いと言うことはそれだけ豊かな自然が多く残されているとも言えるでしょう。

因みに巨樹の定義とは、一般的には地上1.3mの所で幹の太さを計り、3m以上あるものを言います。

さて、日原街道に沿って巨樹を見て行きましょう。なお、個々の巨樹の概要は省略します。皆さんが実際にご覧になり評価してください。

まずは寺地集落先の対岸に

- ・向寺地のアカガシ (ツクバネガシ) (幹周り4.5m 高さ20m) (※以下の巨樹については、幹周り、高さの数値のみ示します。) があり、町指定の天然記念物になっています。続いて倉沢には

- ・倉沢のヒノキ (6.3m 34m) があります。この木についてはかなり知られていますのでご覧になられた方も多いでしょう。東京都の天然記念物に指定されています。

さらに街道を進み、日原集落を少

し過ぎた街道の道の上には

- ・水垂のトチノキ (4.8m 30m) があります。ここからは日原の林道に入ります。八丁橋手前の道下の川縁には

- ・ガ二沢のカツラ (7.1m 31m) があります。このカツラを過ぎると程なく八丁橋となります。八丁橋から先に車は入れませんので歩いて行きます。最初に出てくるのは

- ・名栗沢のトチノキ (5.5m 24m) で八丁橋から約3km歩きます。ここまではちよつと長く、時間もかかりますが、この後は

- ・天狗のカツラ (7.4m 40m) ・鍛冶小屋窪のトチノキ (5.4m 35m) ・熊宿のトチノキ (5.9m 18m) と数百m刻みで出てきます。最後、林道終点の対岸には

- ・長沢谷のカツラ (6.4m 33m) があります。この巨樹は雲取山への登山道を少し行った所にあり、登山道崩壊のため、通行止めとなり残念ながら今は行くことが出来ません。

日原林道の巨樹たちは天然記念物の指定にこそなっていませんが、それぞれ巨樹独特の風格があります。

夏場の林道歩きはかなりきついです。秋の紅葉時期の林道は奥多摩でも有数の見事な紅葉が見られます。この秋は紅葉狩りを兼ね、のんびり巨樹巡りするのはいかがでしょう。

(下のマップは縮尺してあります。日原森林館では元図を配布しています。巨樹巡りの際は森林館に立ち寄りマップを手に入れてからお出かけください。)

